

## 平成29年3月第2回定例会一般質問事項（3／7・8）

### 1 渡辺 竜彦 議員（志政会）

- (1) 児童の登下校時の安全対策はどのようになっているか
  - ・児童の登下校時の安全対策はどのようになっているか。
  - ・昨年11月30日に起きた集団登校中の事故を受け、今後どのような対策を講じているのか。
- (2) 市への転入者数増に向けて
  - ・2016年の坂井市への転入者数と転出者数は。
  - ・転入者数増に向けての具体的な施策は。
- (3) 市へのUIターンの施策は
  - ・2016年度の坂井市へのUIターン者数は。
  - ・UIターン者数増に向けての取り組みは。

### 2 南川 直人 議員（志政会）

- (1) 小学校の英語教育について
  - ・小学校5、6年生における英語教育の現状はどのようか。
  - ・2020年英語教育義務化に向けて、2018年度からどのような変化があるのか。
  - ・新しくなる英語教育に向けた学校、先生方の対応はどうか。
  - ・英語の時間が増える分、他の教科の時間が削られることとなるが、どの教科が削られるのか。また、日本語の理解、日本文化の理解はしっかりなされているのか。
  - ・小学校における英語教育と中、高英語教育の関連をどう考えるか。
- (2) 小学校のプログラミング教育について
  - ・必修化されるプログラミング教育は、どの教科で学習されるのか。
  - ・指導者や教材、ネット環境は、どのように整備されるのか。
  - ・学校内のIT化を進めることが先決か、論理的な思考力をまず養うことが大事なのか、どう考えるか。

### 3 後藤 寿和 議員（志政会）

- (1) インフルエンザ予防接種の無料化について
  - ・本年の市の小中学校インフルエンザ感染の現況は。
  - ・本年の市の小中学校の学級閉鎖の現況は。
  - ・18歳までの子どもと助成金が支給される高齢者でインフルエンザの予防接種を受けた人数と割合は。
  - ・18歳までの子どもインフルエンザ予防接種を無料化にできないか。
  - ・高齢者のインフルエンザ予防接種を無料化にできないか。

#### 4 上出 純宏 議員（志政会）

- (1) 坂井市歴史文化基本構想の目指すところについて
  - ・この構想を立てるきっかけと目指すところを伺う。
  - ・どのように進めるのか。
  - ・文化庁が平成27年に発表した「文化芸術振興基本法 第4次方針」を考慮すると、文化芸術もこの基本構想に加えて、中長期計画をもって振興を図るべきと考えるが、教育長の所見を伺う。
- (2) 丸岡歴史民俗資料館の今後について
  - ・検討委員会の中で、丸岡歴史民俗資料館についての議論はあったか。もし、議論されていれば、どのような意見が出たのか。
  - ・公共施設白書の中では、丸岡歴史民俗資料館は老朽化のため閉館とされているが、時期はいつごろになるのか。

#### 5 川畑 孝治 議員（政友会）

- (1) 春江支所の活用について
  - ・三国支所の書類はこの機会に紙保存とデータ保存に分けて保存すべき。
  - ・春江支所2階は人口減少対策、活性化につながる活用を。
- (2) 小中学校における英語教育について
  - ・市における英語教育の対応は。
  - ・市民ボランティアの活用は。

#### 6 戸板 進 議員（志政会）

- (1) 資源ごみの分別収集の今後の方向性について
  - ・ステーション方式による資源ごみ回収と、丸岡地区が実施している拠点方式資源ごみ回収では、収入と支出の差はどれぐらいになるのか。
  - ・合併協議会では、「資源ごみの分別収集については、合併後丸岡町の例により再編する。」と明記されているが、今後どのように取り組んでいくのか。
  - ・ごみの減量や、リサイクルの推進は、継続的に地区で取り組む課題であると思う。各区で概ね目的が達成されているから事業の見直しを行うとされているが、これについての所見を伺う。
  - ・これまでの環境指導員手当と地域美化協力金は区別する必要があると思うが、これについての所見を伺う。

#### 7 上坂 健司 議員（政和会）

- (1) 坂井市経済の好循環について
  - ・リーサスの地域経済循環図等から読み取れる県内他市と比較した本市の地域経済循環の特徴をどう把握しているのか。
  - ・地域産業連関表による本市の経済波及効果はどうか。

- ・ I Dを持つ担当職員は、リーサスの企業花火図から、市内の個別企業の取引先企業との関係情報（販売・仕入れ額など）やその他の企業データ情報を閲覧できるとされるが、今後の産業施策にどのように活用していくのか。
- ・ 地域経済循環の「見える化」について、市民セミナーの開催や学校教育などの利活用はどうか。
- ・ 企業誘致の国や県に対する市の取り組み状況はどうか。
- ・ 地域産業を観光資源としての地域観光活性化はどうか。
- ・ 世界的な日本食ブームの中、本市の海外輸出の経済効果と今後の戦略はどうか。
- ・ 地域通貨（市内共通のお買い物ポイントカードなど）の活用による、経済・コミュニティの活性化はどうか。

## 8 川端 精治 議員（志政会）

### （1）インバウンド需要における福井港ポートセールスについて

- ・ 「越前加賀インバウンド推進機構」による香港でのトップセールス活動の経過報告と今後のインバウンド推進の具体的な計画は。
- ・ 福井港への外国クルーズ船誘致の実現により、福井県および坂井市のインバウンド誘客が飛躍的に向上すると予想される。早急な誘致活動および港湾整備を県に強く要望するべきと考えるが、市の所見は。

## 9 田中 千賀子 議員（政和会）

### （1）水産行政について

- ・ 海の道の駅構想について。
- ・ 漁業後継者問題と対策、課題は。
- ・ 漁業就業者の実態把握はどのようになっているか。
- ・ 学校給食、食育という観点から加工場の設置はどう考えているか。

### （2）女性の活躍推進（男女共同参画）について

- ・ オンブツト制度の進捗状況について。
- ・ 企業等の管理職を高めるために、どのような対策を講じたか。

## 10 永井 純一 議員（公明党）

### （1）SDGsの取り組みについて

- ・ 市の学校教育にいち早く取り込み、先進的な取り組みをしてはどうか。
- ・ 市が積極的に、SDGsに掲げられた目標達成に取り組むべきと思うが、所見を伺う。

### （2）教師の負担軽減について

- ・ 教員のOBなどの方に活躍していただき、相談体制のシステムを作ってはどうか。

### （3）市のPR推進について

- ・ ご当地ナンバープレートを作成し、交付してはどうか。

- ・マグネット式を作成し、市民や企業の自動車（自家用車、トラック、バス）などで活用していただくことで、幅広くPRできると思うが、いかがか。

## 1 1 畑野 麻美子 議員（日本共産党議員団）

- (1) 丸岡バスターミナル周辺整備は子ども・若者から高齢者が集う広場に
  - ・住民協議会を設置するのか。協議会には若い女性を含め女性の割合を5割にし、女性の声を生かすべき。
  - ・近くに公園もあり、消防署跡地には、小さな子どもハウスを建て親子で遊べるスペースをつくるなど、野外でも屋内でも遊べる流れをつくっては。
  - ・青空マルシェ、屋内マルシェで手作りの商品販売やワークショップなど楽しめるスペースを。
  - ・地元産のものと、近県あるいは全国的な特産物などの農産物直売所を置き、地域の人を対象にしたにぎわいのある、観光客も楽しめる販売を。直売所では、販売している食材で、地元や近県のグルメ料理などを、健康都市宣言をしている坂井市ならではの工夫を加えたメニューで提供できる食堂を。
  - ・高齢者が集えるように曜日を決めて、送り迎えができる交通手段を。
- (2) 学校給食費無料化に向けて、段階的に給食費補助を
  - ・保護者の経済的負担を減らし、子育て支援と若年層人口増にも期待し、学校給食費の無料化へ、市として段階的な給食補助の取り組みを求める。
- (3) 丸岡学校給食の自校式を今後、最大限残し、民間委託をしていく学校給食については見直しをすべき
  - ・丸岡学校給食の自校式を今後、最大限残すこと。
  - ・丸岡中学校給食を春坂給食センターで供給すべき。
  - ・丸岡南中学校、鳴鹿小学校の食材費を含めた業務委託は見直すべき。